

災害看護

看護管理者の心構え ～受援編～

災害発生時、施設が業務継続可能と判断され看護の外部支援を受ける際、どのような準備が必要か一緒に考えてみましょう。

自施設が被災した場合、マンパワーの確保は重要な問題です。その際外部から災害支援ナースなど人的支援を受けることは、病院機能回復の一助となります。今回は災害支援ナース派遣を要請するために必要な項目とポイントを表に示してみました。発災時を想定して、有事における情報収集やその活用判断、看護体制の整備を行うとともに、支援ナースに対する理解を深めておきましょう。



	項 目	内 容	ポイント
看護体制の整備	情報収集	・看護ニーズの把握	・地域ニーズの把握 ・既存患者のニーズ ・災害傷病者のニーズ
		・資源の把握	・勤務可能スタッフの状況 ・系列施設からの支援 ・資機材、備蓄状況、ライフライン
	情報活用と判断	・情報統合	・統括者配置 ・役割のリストアップ ・人員配置 ・業務整理、優先順位づけ
		・需要と供給のバランス	・不足する資源の明確化 ・SOSの発信
支援ナースの活用	支援ナースの役割とシステムの理解	・災害時支援ネットワークの理解 ・災害支援ナースの役割 ・災害看護の理解	・災害マネジメント研修の参加
	活用に向けた整備		・看護協会との防災訓練への参加 ・災害時支援要請連絡用紙周知 ・担当者の配置

平時より、地域の医療事情や行政の『災害時医療救護体制』を把握し、さらに関連団体との連携を取りながら、災害マニュアルの見直しや整備を行っておきましょう。

編集後記

神奈川県看護協会災害救護対策委員会では、協会員皆様の「災害看護について知りたい」というご希望を受けて、平成22年1月から看護だよりに『災害看護』と題して、災害に関する様々な情報を提供してきました。初回の「災害サイクルをご存知ですか？」に始まり、今回の「管理者の心構え～受援編～」で10回目となりました。災害看護を知るきっかけとなりましたでしょうか。

『災害看護 PART 1～PART 10』は、看護協会ホームページにも掲載しています。

見逃した方は是非ご一読ください。また、災害看護について知りたいことがありましたら看護協会までご連絡ください。